

# 男里川で生物の観察会を行いました！

## 男里川の紹介

泉南市と阪南市の境界を流れる男里川は、山中川・菟砥川・金熊寺川の3つの川が合流した地点から海にそそぐ、全長約2.45キロメートルの二級河川です。

河口の沖合いには関西国際空港を眺めることができ、淡路島や天気の良い日には明石海峡大橋も肉眼で見ることができます。

河口から府道の菟砥橋付近までは汽水域となっており、河口付近には自然な州が形成され葦が茂り、野鳥や水辺の生物の生育の場となっています。



▲菟砥橋（府道鳥取吉見泉佐野線）



▲菟砥橋から海側の様子



▲菟砥橋から海側の葦原（下流右岸）

## 男里川で夏休みの親子の水生生物観察会を開催しました 〔開催日：令和2年8月10日〕



環境保全活動団体・岸和田土木事務所・阪南市役所とで、阪南市民を対象とした「親子の水生生物観察会」を令和2年8月10日に開催しました。

コロナウィルス対応のため、参加者には受付時に検温・消毒や帳簿への記入を行ってもらい、マスクを持参しての開催となりました。

生き物調査では、エビ、カニ、ハゼ等のほか、大きなウナギも見付き、参加した子供たちは、生き物の名前や特徴について興味深く聞いていました。

生き物の観察後は元の川へ放流し、最後に河川の清掃活動を行いました。

この活動を通じて、河川環境保全のための様々な取り組みについて知ってもらうことができました。

※例年開催されている取組みですが、令和3年は中止になりました。

